

代名詞的用法の対称詞使用に関する日韓対照研究

林 炫 情

(受付 2006 年 4 月 21 日)

要 旨

本研究では、質問紙調査の結果をもとに、日本語と韓国語における代名詞的用法の対称詞の類似点と相違点について比較した。その結果、(1)既知の人に対する場合、両言語とも、親族名称、実名・愛称、人称代名詞、テクノミーなどが用いられていた。しかし、韓国語では年上に対しては親族名称が、同年輩や年下に対しては実名・愛称が用いられるのが一般的である。一方、日本語では、ごくわずかな親族名称だけが用いられているだけで、親しいか親しくないかに関係なく、実名・愛称で相手に言及することが圧倒的に多いことが明らかになった。また、(2)初対面の見知らぬ人に対する場合、両言語とも、親族名称や人称代名詞を使うケースがある一方で、全く言及しないケースなども見られた。しかし、親族名称や人称代名詞の使用については日韓で大きな違いが見られ、日本人は人称代名詞を、韓国人は親族名称をより多用する傾向が見られた。代名詞的用法の対称詞の使用パターンについては日韓とも相手の性差による顕著な違いは見られなかった。

キーワード：代名詞的用法の対称詞、既知の人、初対面の人、日本語と韓国語

1. は じ め に

話し相手に言及することば（以下、対称詞）には、相手の注意を引きたいときや相手に感情的に訴えたい場合などに用いるものと、文の主語または目的語として用いるものの、性質が異なった2種類の用法が存在する。鈴木（1973）では、前者を呼格的用法（vocative use）、そして後者を代名詞的用法（pronominal use）と呼んでいる。

日本語と韓国語では、話し相手に言及する場合、「あなた/dangsin」などの人称代名詞のほか、「田中さん」「山ちゃん」「boassi (boa 氏)」などの実名・愛称¹⁾、「社長/sajang」「部長/bujang」などの地位・役職名、「お客さん/sonnim」「運転手さん/unjeonsu」などの職業・役割名、「お兄さん/yeong・oppa」「おじさん/ajeossi」などの親族名称、老人に対する「おじさん/halabeoji」、中年の女性に対する「あばさん/ajumeoni」などといった年齢階梯語²⁾など、

1) 「あだな」も愛称の一種として扱われる場合があるが、本稿では区別して扱うことにする。

2) 年齢階梯語とは、祖父・祖母・おじ・おば・兄・姉・娘を意味する親族名称が、それぞれ老人の男女・中年の男女・若い男女、それに若い女を意味することばとして用いられたものを指す（渡辺、1978）。たとえば、日本語では、老人に対して「おじさん」「おばあさん」、中年の男性を「おじ

多彩なバリエーションの中から、対称詞を選択することが多い。また、西欧語とは違って、人称代名詞自体も、話し手や相手の社会的関係、性別、場面などの違いにより多彩な語彙が使い分けられる。例えば、日本語の二人称代名詞「きみ」は、親しい関係にある対等または年下の男・女に向かって用いるのが普通である。しかし、初対面の、またはあまり親しくない、対等または下位の男に対しては「やさしさ」「いささかの遠慮」「親しみ」などを込めて用いることもある（池上，1984）。日本語の「きみ」に似ている韓国語の「jane」は、同年輩・同等の男性同士が、日常使っていることばで、親しい間柄において親しみや軽い敬意を込めて用いる。また、目上の人や成人した目下の人に対してよく用いる語でもある（森下・池，1989）。

さらに、現代日本語と韓国語における二人称代名詞は、共にそれほど高い待遇価値を持っていないので、目上の人に対してはあまり用いられない傾向がある³⁾。このように表面的にはかなり類似しているように見える両言語ではあるが、日本語と韓国語における呼称選択の適切性判断を調査した林・玉岡・深見（2002）、呼格的用法の対称詞の使用実態を調査した林（2003）、両言語の職場での親族名称の使用頻度を調査した林・玉岡（2003）などでは、それぞれの対称詞の用法には類似点とともに相違点があることが指摘されている。とりわけ、両言語の親族名称の使用においてはかなりの相違が見られ、日本人に比べ韓国人のほうが非親族の相手に対しても親族名称を多用していた。

これらの一連の研究は、主に対称詞の呼格的用法に焦点を当てた研究であり、対称詞の代名詞的用法についてはほとんど言及されていない。両言語の対称詞に関する用法をより総合的・体系的にとらえるためには、対称詞の代名詞的用法に関する検討が必要である。そこで本稿では、両言語の対称詞の代名詞的用法を取り上げ、まず、日本語と韓国語の非親族に対する代名詞的用法の対称詞にはどんなものがあるかを明らかにする。さらに、既知の人に対する場合には聞き手の年齢の上下と親疎関係、初対面の人に対する場合には聞き手の年齢の上下と聞き手の性差について、代名詞的用法の対称詞使用を観察した。

さんなどと呼び、韓国語では、老人に対して「halabeoji」「halmeoni」、中年の男性を「ajeossi」などと呼びかけることができる。このような呼び名は、相手と自分の相対的地位および相手と第三者の相対的地位に関係なく、話しかけられた相手の性・年齢からくる絶対的特徴に応じて選択される。金水（1989）では、親族名称だけではなく、若い男の子に対する「ほく」や既婚女性を意味する「奥さん」をも年齢階梯語の範疇のなかに入れて分類しており、年齢階梯語を年齢に応じて使われることばというふうに広くとらえると、韓国語の未婚の若い女性を示す「agassi」、未婚の若い男性を示す「conggak」、また幼い子供を指す「kkoma」などもこれに含まれると言えよう。

- 3) 日本語の「あなた」は、上位者に対する場合は、一般に成人男女が、男女の区別なく相手をさしていうのに用いるが、個々のケースによってそのニュアンスには多少の違いが見られており（池上，1984）、近年目上の相手に対して「あなた」を使うことに対して違和感があることが指摘されている。日本語の「あなた」によく似ているものとして韓国語では「dangsin」がある。徐（1989）では、「あなた」と「dangsin」の対応関係について、いずれも尊敬度が非常に低いこと、年下または部下、同年輩、若干の年上（5才位の違い）や身分的に同じレベルの人にはしか用いることができないこと、また、夫婦間でよく使われていることばである点をあげている。

2. 調査方法

2.1 調査時期と被験者

2003年3月に、日本の広島市在住の日本人と韓国ソウル市在住の韓国人、それぞれ20代から50代までの公務員および会社員を対象として質問紙調査を実施した。回答者の職業と年齢層を限定したのは、これらの職業や年齢層が、日常的に様々な人間関係のなかで、ことばの使い分けに最も注意を払う職業であり、年齢層であると考えたからである。被験者数は日本人が167名（女性103名、男性64名）で、韓国人が232名（女性153名、男性79名）の合計399名である。年齢の平均は、日本人が38才1ヶ月（標準偏差が11年4ヶ月）、韓国人が30才7ヶ月（標準偏差が6才5ヶ月）で、日本人のほうが多少高めであった。国別、性別、年齢層別の回答者数の詳細は、表1に示したとおりである。回答者の年齢層別の割合を具体的にみると、日本人は20代と30代が58.9%（100名）を占めているのに対し、韓国人の場合は83.7%（194名）で、かなり若い層に集中している。そこで、年齢層別に両言語を直接比較するには限界があると考え、本稿の分析では、日本人と韓国人との年齢層別比較はしないこととした。

表1 回答者の国別、性別および年齢層別の人数

国名	性	年齢層				合計
		20代	30代	40代	50代	
日本	女性	36	28	27	12	103
	男性	13	23	19	9	64
	合計	49 (29.3%)	51 (30.5%)	46 (27.5%)	21 (12.6%)	167 (100.0%)
韓国	女性	77	51	19	6	153
	男性	38	28	12	1	79
	合計	115 (49.6%)	79 (34.0%)	31 (13.4%)	7 (3.1%)	232 (100.0%)
合計		164 (41.1%)	130 (32.6%)	77 (19.3%)	28 (7.0%)	399 (100.0%)

注1. 数値の単位は人。

注2. 括弧内の数値はそれぞれの人数の割合を示す。

2.2 調査項目

本調査では、話し相手を非親族の「既知の人」（場面1）と「初対面の見知らぬ人」（場面2）に分け、以下の2つの質問項目を作成した。一つは、既知の人に対して「普段知っている人と道で偶然出会って、『(あなた)はこれから買い物に(行くのか)』とたずねる場面」、もう一つは、初対面の人に対して「電車のなかで、見知らぬ人が切符を落としたのを見て、『この切符は(あなた)が(落としたのか)』とたずねる場面」である。本調査で用いた質問

文は、表現としては多少自然さにかける面もあるが、代名詞的用法の性質を持つ対称詞をより多く聞き出すため、このようにした。

代名詞的用法の対称詞の使い分けについては、聞き手の年齢、親疎や性差によっても変わると予想される。そこで、聞き手は年齢（年上・同年輩・年下）を軸として、場面1では親しいか親しくないか、場面2では聞き手が男性か女性かの条件を加え、それぞれ6種類の聞き手を想定した。ただし、場面2では、聞き手の年齢をある程度決めたほうが回答者にとっては答えやすいと考え、年上の人を60代以上の男女、年下の人を10代以下の男女と具体的に設定した。本調査の回答者の年齢層である20代から50代からみると、60代以上は年上に、10代以下は年下に当てはまる年齢層であるため、年齢の上下における使い分けを検討するには差し支えないと考えられる。

主語の（あなた）についての回答は自由記入式による複数回答、述語の「行くか」「落としたか」はそれぞれ待遇度が違う選択肢の中から選ぶ複数回答を求めた。本調査で、主語の（あなた）とともに、述語の「行くか」「落としたか」についても回答を求めたのは、両言語の聞き手待遇用法では、主体を表す主語と聞き手に対する述語の待遇度が共起して現れることが多いため⁴⁾、より多彩なバリエーションの対称詞を収集するには、述語にもある程度選択肢を与えたほうが良いと考えたからである。さらに、主語の対称詞とあわせて、述語「行くか」「落としたか」が聞き手に応じてどう使い分けられているかをも把握することができる。ただし、述語の待遇度やどのような主語と述語が共起しているかについては、次の機会にゆずることとし、以下では「既知の場合」と「初対面の場合」の2つの発話場面で、日本語と韓国語のそれぞれでどのような人称代名詞的用法の対称詞が用いられているかを全体的に概観しつつ、日韓の違いを中心に考察していく。質問紙の詳細は末尾に示す。なお、紙面の都合上、日本語のみを示すことにする。

3. 調査結果

3.1 日韓両言語における代名詞的用法の対称詞のバリエーション

既知の人に対する代名詞的用法の対称詞を年上、同年輩、年下に分けてまとめると、表2（年上）、表3（同年輩）、表4（年下）のようになる。また、表5、表6、表7は、初対面の人

4) ただし、韓国語における *speech level* を呼称・指称語と関連づけて言及している兪（1996）とイ（2002）の研究では、韓国語の呼称・指称語は、場面や相手との関係によって、各々述語の待遇と独立的に使用され、規則的な用法からはずれて、ある程度戦略的にも使われているという指摘も見られる。しかし、兪（1996）はラジオ放送での「D.J. Talk」の談話分析、イ（2002）は、軍隊での言葉の使用を中心に述べているなど、限られた場面での言葉の使用を扱っているため、これを一般化するには、状況が異なる場面における実態調査からの検討が必要であろう。

代名詞的用法の対称詞使用に関する日韓対照研究

表2 日本語と韓国語における既知の年上に対する代名詞的用法の対称詞

		日 本 語				韓 国 語							
相手	代名詞的用法の対称詞	回 答 者				合計 (%)	相手	代名詞的用法の対称詞	回 答 者				合計 (%)
		女 性		男 性					女 性		男 性		
		数	%	数	%				数	%	数	%	
親しい年上	実名・愛称類 姓+さん 名+さん ニックネーム+さん 姓+くん 名+ちゃん ニックネーム+ちゃん 姓+ちゃん	82	67.2	54	79.4	179 (94.2)	親しい年上	実名・愛称類 名+ssi 名(i) 姓名+ssi	18	9.7	5	5.2	32 (11.3)
		19	15.6	6	8.8				2	1.1	1	1.0	
		5	4.1	2	2.9				—	—	6	6.2	
		4	3.3	2	2.9				—	—	—	—	
		2	1.6	—	—				—	—	—	—	
親族名称類	お母さん 姉さん	1	0.8	—	—	2 (1.1)	親族名称類	eonni/oppa 名+eonni/oppa 姓名+eonni nuna/hyeong 名+nuna/hyeong hyeongnim 姓+hyeong 姓名+hyeongnim seonbae+eonni 名+heongnim	74	39.8	—	—	216 (76.3)
		1	0.8	—	—				60	32.3	—	—	
人称代名詞類	あなた	4	3.3	2	2.9	6 (3.2)	人称代名詞類		—	—	—	—	—
テクノロジー類		—	—	—	—	—	テクノロジー類	子供の名+eomma/appa 子供の名+eomeoni 子供の名+eomeonim	10 4 1	5.4 2.2 0.5	3 — —	3.1 — —	18 (6.4)
その他	奥さん あだな	1	0.8	—	—	3 (1.6)	その他	seonbae seonbaenim 名+seonbaenim 名+seonbae 姓+職業名+nim 職業名 地位・役職名+nim	6 1 — — 3 2 1	3.2 0.5 — — 1.6 1.1 0.5	1 1 1 1 — — —	1.0 1.0 1.0 1.0 — — —	17 (6.0)
		2	1.6	—	—				—	—	—	—	—
合 計		122	100	68	100	190 (100)	合 計		186	100	97	100	283 (100)
あまり親しくない年上	実名・愛称類 姓+さん 名+さん 姓名+さん 名	100	96.2	56	84.8	168 (98.8)	あまり親しくない年上	実名・愛称類 名+ssi 姓名+ssi 名(i) 姓名+nim	40	24.5	12	13.8	88 (35.2)
		2	1.9	6	9.1				17	10.4	13	14.9	
		1	1.0	—	—				2	1.2	3	3.4	
		—	—	3	4.5				1	0.6	—	—	
	親族名称類		—	—	—	—	—	親族名称類	名+eonni/oppa eonni/oppa ajumma 名+heongnim 名+nuna/hyeong nuna/hyeong hyeongnim	39 31 7 1 — — —	23.9 19.0 4.3 0.6 — — —	— 6 2 13 15 7 8	— 6.9 2.3 14.9 17.2 8.0 9.2
—			—	—	—	—				—	—	—	—
人称代名詞類	あなた	—	—	1	1.5	1 (0.6)	人称代名詞類	jagi	—	—	1	1.1	1 (0.4)
テクノロジー類	~さんのおばさん	1	1.0	—	—	1 (0.6)	テクノロジー類	子供の名+eomma/appa 子供の名+eomeoni 子供の名+eomeonim	13 5 2	8.0 3.1 1.2	1 1 —	1.1 1.1 —	22 (8.8)
その他		—	—	—	—	—	その他	名+seonbae 名+seonbaenim seonbaenim oppa chingu 姓+地位・役職名 姓+職業名+nim	2 2 — 1 — —	1.2 1.2 — 0.6 — —	— — 3 — 1 1	— — 3.4 — 1.1 1.1	10 (4.0)
		—	—	—	—				—	—	—	—	—
合 計		104	100	66	100	170 (100)	合 計		163	100	87	100	250 (100)

注1. 複数回答あり。

注2. 「—」は回答数がゼロのことを示す。

表3 日本語と韓国語における既知の同年輩に対する代名詞的用法の対称詞

		日 本 語				韓 国 語									
相手	代名詞的用法の対称詞	回 答 者				合計 (%)	相手	代名詞的用法の対称詞	回 答 者				合計 (%)		
		女 性		男 性					女 性		男 性				
		数	%	数	%				数	%	数	%			
親しい同年輩	実名・愛称類	姓+さん	48	33.8	19	22.9	親しい同年輩	実名・愛称類	名(i)	107	66.0	49	60.5	180 (74.1)	
		ニックネーム+ちゃん	28	19.7	5	6.0			名+ssi	11	6.8	9	11.1		
		名	17	12.0	5	6.0			姓名	1	0.6	2	2.5		
		名+ちゃん	14	9.9	3	3.6			姓名+ssi	1	0.6	—	—		
		名+さん	8	5.6	5	6.0			親族名称類	名+eonni	3	1.9	—		—
		姓+くん	7	4.9	9	10.8			eonni	1	0.6	—	—		
		姓	4	2.8	26	31.3			aunim	—	—	1	1.2		
		姓+ちゃん	3	2.1	2	2.4			人称代名詞類	neo	13	8.0	5		6.2
		ニックネーム	2	1.4	1	1.2			jagi	4	2.5	3	3.7		
		姓名	1	0.7	1	1.2			テクノニミー類	子供の名+eomma/appa	11	6.8	2		2.5
ニックネーム+さん	1	0.7	—	—	その他	呼ばない	8	4.9	7	8.6					
ニックネーム+くん	1	0.7	—	—	chingu	2	1.2	1	1.2						
名+くん	—	—	1	1.2	姓+地位名	—	—	2	2.5						
合 計		142	100	83	100	225 (100)	合 計	162	100	81	100	243 (100)			
あまり親しくない同年輩	実名・愛称類	姓+さん	88	78.6	33	46.5	あまり親しくない同年輩	実名・愛称類	名+ssi	86	55.8	45	56.3	200 (85.5)	
		姓+くん	6	5.4	14	19.7			名(i)	32	20.8	23	28.8		
		ニックネーム+ちゃん	6	5.4	1	1.4			姓名+ssi	6	3.9	4	5.0		
		名+さん	5	4.5	4	5.6			名+nim	2	1.3	—	—		
		名+ちゃん	3	2.7	—	—			姓名	1	0.6	1	1.3		
		姓	1	0.9	13	18.3			親族名称類	名+eonni	2	1.3	—		—
		姓名	1	0.9	—	—			ajumma	1	0.6	—	—		
		名	—	—	1	1.4			hyeong	—	—	1	1.3		
		名+くん	—	—	1	1.4			人称代名詞類	hyeongssi	—	—	1		1.3
		合 計		112	100	71			100	183 (100)	合 計	154	100		80
あまり親しくない同年輩	実名・愛称類	姓+さん	88	78.6	33	46.5	あまり親しくない同年輩	実名・愛称類	名+ssi	86	55.8	45	56.3	200 (85.5)	
		姓+くん	6	5.4	14	19.7			名(i)	32	20.8	23	28.8		
		ニックネーム+ちゃん	6	5.4	1	1.4			姓名+ssi	6	3.9	4	5.0		
		名+さん	5	4.5	4	5.6			名+nim	2	1.3	—	—		
		名+ちゃん	3	2.7	—	—			姓名	1	0.6	1	1.3		
		姓	1	0.9	13	18.3			親族名称類	名+eonni	2	1.3	—		—
		姓名	1	0.9	—	—			ajumma	1	0.6	—	—		
		名	—	—	1	1.4			hyeong	—	—	1	1.3		
		名+くん	—	—	1	1.4			人称代名詞類	hyeongssi	—	—	1		1.3
		合 計		112	100	71			100	183 (100)	合 計	154	100		80

注1. 複数回答あり。

注2. 「—」は回答数がゼロのことを示す。

代名詞的用法の対称詞使用に関する日韓対照研究

表4 日本語と韓国語における既知の年下に対する代名詞的用法の対称詞

		日 本 語				韓 国 語								
相手	代名詞的用法の対称詞	回 答 者				合計 (%)	相手	代名詞的用法の対称詞	回 答 者				合計 (%)	
		女 性		男 性					女 性		男 性			
		数	%	数	%				数	%	数	%		
親しい年下	実名・愛称類	姓+さん	45	31.7	17	20.7	親しい年下	実名・愛称類	名(i)	130	80.2	60	72.3	206 (84.1)
		名+ちゃん	26	18.3	3	3.7			名+ssi	9	5.6	6	7.2	
		ニックネーム+ちゃん	24	16.9	3	3.7			姓名	—	—	1	1.2	
		姓+くん	15	10.6	18	22.0								
		名	9	6.3	8	9.8								
		名+さん	9	6.3	4	4.9								
		姓	5	3.5	19	23.2								
		ニックネーム+くん	2	1.4	1	1.2								
		姓+ちゃん	3	2.1	1	1.2								
		名+くん	1	0.7	—	—								
ニックネーム	—	—	1	1.2										
	親族名称類	—	—	—	—		親族名称類	dongsaeng	3	1.9	—	—	3 (1.2)	
	人称代名詞類	2	1.4	1	1.2		人称代名詞類	neo jagi	10	6.2	2	2.4	14 (5.7)	
	テクノミィー類	—	—	—	—		テクノミィー類	子供の名+eomma	2	1.2	—	—	2 (0.8)	
	その他	—	—	1	1.2		その他	呼ばない名+hubae	8	4.9	11	13.3	20 (8.2)	
	あだな	1	0.7	2	2.4				—	—	1	1.2		
	合 計	142	100	82	100		合 計		162	100	83	100	245 (100)	
あまり親しくない年下	実名・愛称類	姓+さん	79	65.8	29	39.2	あまり親しくない年下	実名・愛称類	名(i)	94	62.7	47	59.5	210 (91.7)
		姓+くん	14	11.7	26	35.1			名+ssi	43	28.7	21	26.6	
		名+ちゃん	11	9.2	—	—			姓名	1	0.7	2	2.5	
		ニックネーム+ちゃん	6	5.0	1	1.4			姓名+ssi	1	0.7	1	1.3	
		名+さん	5	4.2	4	5.4								
		姓	1	0.8	5	6.8								
		姓+ちゃん	1	0.8	—	—								
		姓名	1	0.8	—	—								
		名	—	—	2	2.7								
		名+くん	—	—	1	1.4								
	人称代名詞類	1	0.8	1	1.4		人称代名詞類	jagi neo	—	—	2	2.5	4 (1.7)	
	きみ	1	0.8	—	—				1	0.7	1	1.3		
	自分	—	—	3	4.1									
	お前	—	—	1	1.4									
	あなた	—	—	1	1.4									
	テクノミィー類	—	—	—	—		テクノミィー類	子供の名+eomma	7	4.7	3	3.8	10 (4.4)	
	その他	—	—	—	—		その他	呼ばないdongsaeng+chingu chingu+joka	1	0.7	2	2.5	5 (2.2)	
		—	—	—	—				1	0.7	—	—		
		—	—	—	—				1	0.7	—	—		
	合 計	120	100	74	100		合 計		150	100	79	100	229 (100)	

注1. 複数回答あり。

注2. 「—」は回答数がゼロのことを示す。

表5 日本語と韓国語における初対面の年上に対する代名詞的用法の対称詞

日 本 語						韓 国 語									
相手	代名詞的用法の対称詞		回 答 者				合計 (%)	相手	代名詞的用法の対称詞		回 答 者				合計 (%)
			女 性		男 性						女 性		男 性		
			数	%	数	%					数	%	数	%	
年上の女性	言及しない		55	43.7	23	29.1	78 (38.0)	言及しない		—	—	—	—	—	
	親族名称類	おばさん	8	6.3	7	8.9	42 (20.5)	親族名称類	halmeoni	93	61.2	42	56.0	227 (100)	
		おばあちゃん	8	6.3	11	13.9			halmeonim	25	16.4	14	18.7		
		お母さん	2	1.6	—	—			ajumeoni	20	13.2	13	17.3		
		おばあさん	1	0.8	2	2.5			ajumma	11	7.2	2	2.7		
		おばあちゃん	—	—	2	2.5			ajumeonim	2	1.3	4	5.3		
	ばあちゃん	—	—	1	1.3	comeoni	1	0.7	—	—					
	人称代名詞類	あなた	36	28.6	25	31.6	73 (35.6)								
		あんた	—	—	1	1.3									
		お宅	7	5.6	1	1.3									
お宅さん		—	—	2	2.5										
お宅様		1	0.8	—	—										
その他	奥さん	5	4.0	4	5.1	12 (5.9)									
	奥様	1	0.8	—	—										
	そちら	2	1.6	—	—										
合 計		126	100	79	100	205 (100)	合 計		152	100	75	100	227 (100)		
年上の男性	言及しない		59	47.6	29	38.2	88 (44.0)	言及しない		—	—	—	—	—	
	親族名称類	おじさん	8	6.5	8	10.5	35 (17.5)	親族名称類	hal-abeoji	108	67.5	49	62.0	221 (92.5)	
		おじいさん	6	4.8	7	9.2			ajeossi	31	19.4	15	19.0		
		お父さん	2	1.6	3	3.9			hal-abeonim	13	8.1	5	6.3		
		じいちゃん	—	—	1	1.3									
	人称代名詞類	あなた	38	30.6	24	31.6	75 (37.5)	人称代名詞類	eoleusin	2	1.3	2	2.5	4 (1.7)	
		おたく	8	6.5	2	2.6									
		お宅様	1	0.8	—	—									
		おたくさん	—	—	1	1.3									
		あんた	—	—	1	1.3									
その他	そちら	2	1.6	—	—	2 (1.0)	その他	seonseangnim	6	3.8	8	10.1	14 (5.9)		
	合 計		124	100	76			100	200 (100)	合 計		160		100	79

注1. 複数回答あり。

注2. 「—」は回答数がゼロのことを示す。

に対する代名詞的用法の対称詞を年上（表5）、同年輩（表6）、年下（表7）に分けて示したものである。

日韓両言語における代名詞的用法の対称詞を調べた結果、両言語では年齢の上下や親疎、そして話し手と聞き手の性差などによって様々なことばが使用されていることが分かった。本調査で得られた代名詞的用法の対称詞を、金水（1989）、朴（1989）、林（2003）を参考に類型化してみると、大きく「実名・愛称類」「親族名称類」「人称代名詞類」「テクノニミー類」「その他」に分けることができよう。しかし、本調査では、初対面の聞き手に対しては、以上の類型のほか、「言及しない（あるいは呼ばない、以下省略）」と回答したケースがかなり多く見られた。そこで、表5、表6、表7では以上の分類のほか、「言及しない」ケースを

表 6 日本語と韓国語における初対面の同年輩に対する代名詞的用法の対称詞

日 本 語						韓 国 語									
相手	代名詞的用法の対称詞		回 答 者				合計 (%)	相手	代名詞的用法の対称詞		回 答 者				合計 (%)
			女 性		男 性						女 性		男 性		
			数	%	数	%					数	%	数	%	
同年輩の女性	言及しない		48	41.0	26	35.1	74 (38.7)	言及しない		37	25.0	17	21.3	54 (23.7)	
	親族名称類	お姉ちゃん	1	0.9	3	4.1	4 (2.1)	親族名称類	ajumma ajumeoni eonni ajumeonim	46 24 2 -	31.1 16.2 1.4 -	21 17 -	26.3 21.3 1.3	111 (48.7)	
	人称代名詞類	あなた おたく きみ あんた	53 10 -	45.3 8.5 -	38 4 2	51.4 5.4 2.7	108 (56.5)	人称代名詞類	dangsin	2	1.4	2	2.5	4 (1.8)	
	その他	そちら 奥さん	3 2	2.6 1.7	- -	- -	5 (2.6)	その他	agassi geujjog geujjogbun	33 2 2	22.3 1.4 1.4	17 5 -	21.3 6.3 -	59 (25.9)	
合 計			117	100	74	100	191 (100)	合 計			148	100	80	100	228 (100)
同年輩の男性	言及しない		49	42.2	27	36.5	76 (40.0)	言及しない		44	29.1	23	31.5	67 (29.9)	
	親族名称類	お兄さん お兄ちゃん 兄ちゃん	1 -	0.9 -	1 1	1.4 1.4	4 (2.1)	親族名称類	ajeossi	97	64.2	37	50.7	134 (59.8)	
	人称代名詞類	あなた おたく あんた きみ	51 11 -	44.0 9.5 -	35 6 2	47.3 8.1 2.7	106 (55.8)	人称代名詞類	dangsin hyeongssi	1 -	0.7 -	4 2	5.5 2.7	7 (3.1)	
	その他	そちら	4	3.4	-	-	4 (2.1)	その他	geujjogbun geujjog seonsaengnim sinsabun haksaeng	4 2 1 1 1	2.6 1.3 0.7 0.7 0.7	3 1 3 -	4.1 1.4 4.1 -	16 (7.1)	
合 計			116	100	74	100	190 (100)	合 計			151	100	73	100	224 (100)

注 1. 複数回答あり。

注 2. 「-」は回答数がゼロのことを示す。

追加して示すこととした⁵⁾。

3.1.1 実名・愛称類

実名は、日本語では「田中一郎」、「田中」、「一郎」など、韓国語では「kim (姓) Jinsu (名)」や「Jinsu (名)」など、相手の姓名や名を用いることを指す。ただし、韓国語では、「姓」だけを用いる習慣はない⁶⁾。両言語の実名は、相手との親密さや上下に応じて、そのままの形で使われるほか、日本語では「-さん」「-くん」「-ちゃん」など、韓国語では「-ssi

- 「言及しない」ケースに集計されているものは、「言及しない」あるいは「呼ばない」などと書かれたものに限っており、空白になっているものは含んでいない。
- 成人男性に対して「姓+ssi」と姓だけで言及することがあるが、これは建設工事現場などで管理職の人が従業員を呼ぶときなど、目上から目下に対してとかなり限られた場面(相手)でのみ用いることができる。

表7 日本語と韓国語における初対面の年下に対する代名詞的用法の対称詞

日 本 語						韓 国 語															
相手	代名詞的用法の対称詞					回 答 者				合計 (%)	相手	代名詞的用法の対称詞					回 答 者				合計 (%)
						女 性		男 性									数	%	女 性		
	数	%	数	%	数	%	数	%													
年下の女性	言及しない					44	40.0	22	30.6	66 (36.3)	年下の女性	言及しない					17	10.	7	8.5	24 (9.7)
	親族名称類	お姉ちゃん	2	1.8	4	5.6	8 (4.4)	eonni	5	3.1		2	2.4	7 (2.8)							
		姉ちゃん	—	—	1	1.4			neo	6		3.6	2		2.4						
		お母ちゃん	—	—	1	1.4				人称代名詞類		haksaeng agassi geujjog	117		70.5	61	74.4				
人称代名詞類	あなた	60	54.5	33	45.8	104 (57.1)	neo	21	12.7		9		11.0	8 (3.2)							
	きみ	1	0.9	7	9.7			その他	—		—		1		1.2						
	おたく	1	0.9	—	—				209 (84.3)	2	2.8	4 (2.2)									
	あんた	—	—	2	2.8																
自分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—								
その他	お嬢さん					2	1.8	2	2.8	4 (2.2)	haksaeng agassi geujjog					117	70.5	61	74.4	209 (84.3)	
合 計						110	100	72	100	182 (100)	合 計						166	100	82	100	248 (100)
年下の男性	言及しない					46	38.7	22	29.3	68 (35.1)	年下の男性	言及しない					13	8.2	6	7.4	19 (7.9)
	親族名称類	お兄ちゃん	5	4.2	5	6.7	13 (6.7)	ajeossi	5	3.1		3	3.7	8 (3.3)							
		お兄さん	—	—	1	1.3			neo	10		6.3	6		7.4						
		兄ちゃん	—	—	2	2.7				hyeongssi		—	—		1	1.2	17 (7.1)				
人称代名詞類	あなた	51	42.9	25	33.3	113 (58.2)	neo	hyeongssi	10		6.3	6	7.4								
	きみ	13	10.9	15	20.0									haksaeng chonggag cheongnyeon geujjog	125	78.6		62	76.5		
	ぼく	2	1.7	1	1.3					3					1.9	2	2.5				
	おたく	1	0.8	—	—													3	1.9	—	—
自分	1	0.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—										
あんた	—	—	2	2.7	—	—	—	—	—	—	—	—									
おまえ	—	—	2	2.7	—	—	—	—	—	—	—	—									
その他	—					—	—	—	—	—	haksaeng chonggag cheongnyeon geujjog					125	78.6	62	76.5	196 (81.7)	
合 計						119	100	75	100	194 (100)	合 計						159	100	81	100	240 (100)

注1. 複数回答あり。

注2. 「-」は回答数がゼロのことを示す。

(氏)」「-nim (様)」などの敬称をつけて用いられる。本調査で、最も多用されている語形は、日本語では年齢の上下と親疎に関係なく「姓+さん」で、男性の場合、親しい同年輩や親しい年下に対しては「姓」の呼び捨てが「姓+さん」よりも若干多く見られた。一方、韓国語では年上やあまり親しくない同年輩に対しては「名+ssi」、親しい同年輩や年下に対しては「名」の呼び捨てが最も多かった。

また、愛称 (ニックネーム) とは、日本語での「松本→まっちゃん」, 「花子→はなちゃん」などのように個人名の一部を略したり変化させて用いることを指す。日本語の場合、ニックネームにも実名同様、敬称を付けて用いることができる。本調査では、韓国語の場合、日本語のような愛称の使用は見られなかった。これは、韓国語には日本語の「-ちゃん」のよう

な親しみを込めた敬称がないことが愛称を用いにくい原因の一つであるといえよう。

3.1.2 親族名称類

親族名称は、血縁関係や親族関係を表すことばである。本調査の結果、日韓では、このような血縁関係や親族関係を表すことばが、親族以外の人に対しても用いられている点で共通していた⁷⁾。また、日韓両言語とも「お母さん」「**hyeongnim** (お兄様)：兄に対して弟が用いる」などのように「-さん」,「-nim (様)」などの敬称が含まれる語形がみられた。さらに、相手の名前を知っている場合は、親族名称を単独で用いるほか、「花子お姉さん」「**Jinsu** (名) **oppa** (**Jinsu** お兄さん)：兄に対して妹が用いる」というように親族名称を名前の後に付けて用いる語形もみられた。

非親族に対する親族名称を既知の人と初対面で分けてみると、まず、既知の人に対する場合、日本語では「お母さん」「お姉さん」といった「母を意味する親族名称」「姉を意味する親族名称」が見られた。これに対し、韓国語では「**eonni** (姉に対して妹が用いる)/**nuna** (兄に対して弟が用いる), **oppa** (兄に対して妹が用いる)/**hyeong** (兄に対して弟が用いる)」⁸⁾ などといった「姉・兄を意味する親族名称」や「**ajumma**」といった「おばを意味する親族名称」が用いられていた。親族名称の使用では、日本人は親しい年上の聞き手に対し、女性が若干用いているだけであったが、韓国人はあまり親しくない年下をのぞくすべての場面で親族名称が使われており、特に年上の人に対してはかなり多用されていた。なかでも最も多用されていたのは「姉・兄を意味する親族名称」である。一方、初対面の人に対しては、既知の人に対する場合と同様、全体的に日本人に比べ韓国人のほうが多用している。特に、相手が年上の女性の場合は100.0%、男性の場合は92.5%を占めている。

ところで、親族名称の使用において最も興味深い点は、日韓両言語における初対面の年下に対する親族名称の語形である。まず、日本語の場合、「お姉ちゃん」「お兄ちゃん」などの兄・姉を意味する親族名称のほか、「お母ちゃん」といった親族名称も見られた。これは、相手が子連れの場合には10代の初対面の女性に対しても「お母ちゃん」と呼ぶこともあるのだと思われる。一方、韓国語では、男性に対してはおじを意味する「**ajeossi**」、女性に対しては姉を意味する「**eonni**」が年下に対して用いられている。父母世代の対象(父母の兄弟)に

7) 実際には親族関係がない人に対して親族名称を使うことを、人類学の分野では「虚構的用法 (fictive use)」と呼んでいる(鈴木, 1973)。この現象は、程度の差こそあれ、他の言語においても見られるようである(原, 1979; 井上, 1991)。

8) 韓国語の場合、自分より年下の者は男女の区別はせず「**dongsaeng** (区別する場合は **nam** (男), **yeo** (女) をつける)」というのに対し、年上の者は聞き手が男か女かの区別だけでなく、自分が男性か女性かによっても親族名称が変わる。本調査では、聞き手の性差は区別せず、親しい関係か親しくない関係かだけを区別した。そのため、回答者側が予め聞き手の性差を想定した上で回答した例、つまり、男性の場合は「**hyeong/nuna**」、女性の場合は「**eonni/oppa**」といった例が見られた。テクノニミー類における「子供の名前+**appa** (パパ)/**eomma** (ママ)」についても同じことが予想できる。

用いる親族名称「ajeossi」が10代以下の男性に対しても用いられているのには、成人男女を表すことばの不足にその原因がある（林，2003）と考えられる。自分より若い女性に対する「eonni」は、商店などでは商術的な親近感の表現の現れとして用いることはある（林，2003）が、林・玉岡・深見（2002）の調査でも明らかになったように、それについてはかなり抵抗感を覚えている人が多い。本調査では、若干ではあるものの、「eonni」が道で偶然出会った初対面の人に対しても使用され、さらに、本来、妹から姉に対して用いる親族名称を、女性だけではなく男性も用いていることが明らかになった。このような本来の用法から大きくはみでた現象についてはこれからも注目していく必要がある。

3.1.3 人称代名詞類

日韓の人称代名詞の種類は日本語のほうが韓国語より多い（韓，1982；林，2003）。本調査の結果、日本語では、既知の相手に対しては「あなた」「お前」「あんた」「きみ」「自分」など、初対面の人に対しては「あなた」「あんた」「おまえ」「きみ」「お宅」「お宅さん」「お宅様」「自分」「ほく」などが代名詞的用法の対称詞として用いられていた。特に、「あなた」は相手の年齢の上下に関係なく、既知の人に対する場合から初対面の人に対する場合まで広範囲で用いられていた。また、その利用率は、既知の人に対しては低い反面、初対面の人に対してはかなり多用されていることが分かった（年上に対しては4割弱、同年輩と年下に対しては6割弱）。

一方、韓国語では、既知の相手に対しては「neo」「jagi」「hyeongssi」などが、初対面の人に対しては「eoleusin」「dangsin」「hyeongssi」「neo」などが相手を言及する人称代名詞として用いられている。このうち、「dangsin」は、日本語の「あなた」の用法とかなり類似しているとされるが、本調査の結果、初対面の同年輩の人に対してのみわずかに現れており、日本語の「あなた」よりその使用範囲がかなり狭いことが明らかになった。

ところで、人称代名詞の使用で興味深い点は、日本語で一人称代名詞である「ほく」と再帰代名詞の「自分」が二人称として用いられている点である。日本語における二人称としての「ほく」について、鈴木（1973）は、相手が若い男子の場合は彼自身を虚構的家族の最年少者と認定し、彼自身の立場から彼をみることにより、そこで本来は自称詞である僕という自己中心語を、他者中心的に対称詞として使って相手と呼ぶことになる」と述べている。また、「自分」は、江戸期にはすでに二人称代名詞として使われており、「自分」に「御」がつくかどうかで二人称と一人称とに分けられていたのが、いつしか「御」もとれて「自分」が二人称として存在するようになった（井上，1995）という。日本語の「自分」のような用法をもつ、つまり、再帰用法以外に人称代名詞として用いることができる韓国語には「jagi（自己）」がある。韓国語の「jagi」は、一人称としては使われておらず、一般的に若い夫婦や友達の間で気安く相手と呼ぶことばとして「neo,dangsin」を意味する二人称代名詞として用いられ

るといわれている（延世国語辞典，<http://clid.yonsei.ac.kr:8000>）。しかし，本調査の結果，わずかではあるが，あまり親しくない年上に対しても用いられることが新たに分かった。

3.1.4 テクノミー（teknomy）類

テクノミーは，一般に子供本位の呼称のことを指す。その代表的な型は，ある人を呼ぶときに，その人自身の個人名や通常の親族名称で呼ぶのではなく，その人の子や孫のなかの一人の個人名にもとづいて，「だれそれのお父さん（もしくはお母さん）」とか，「だれそれのおじいさん（またはおばあさん）」と呼ぶ方式である（石川・梅棹・大林・蒲生・佐々木・祖父江，2000）。本調査の結果，日本語ではその使用率はかなり低いものの，あまり親しくない年上や同年輩に対し，「～のお母さん」「～さんのおばさん」の語形が見られた。一方，韓国語では，日本語の「～のおばさん」にあたる表現は見られず，「子供の名+omma（パパ）/appa（ママ）」といった子供の名前に父・母を意味することばを付けて呼ぶ語形のみが見られた。また，韓国語におけるテクノミーは，全体的に男性よりは女性のほうが多用していた。そのなかでも，最も使用率が高かったのは，あまり親しくない同年輩に対してであった（14.3%）。テクノミーが，親族名称や名前を呼びにくい相手に対して，直接呼ぶことを避けるために用いる間接的な呼び方である（林・玉岡・深見，2002）とすれば，韓国人の女性はあまり親しくない同年輩に対して最も心理的距離を感じていると解釈できよう。しかし，これについては更なる検討が必要である。

3.1.5 その他

日韓では，「部長」「田中課長」「gwajang（課長）nim」「姓+bujang（部長）」などの地位・役職名や，本来は方向を表す「そちら/geujjog」，未婚の若い女性を意味する「お嬢さん/agassi」なども人称代名詞的用法の対称詞として用いられている。さらに，日本語では既婚女性を意味する「奥さん」，韓国語では「seonbae」といった先輩を表すことばや先生を意味する「seonseang（先生）nim」，学生を意味する「haksaeng」なども見られた。このうち，初対面の年下の相手を10代以下と設定した本調査では，韓国語の年下に対して最も多用されたのは「haksaeng」で，聞き手が女性の場合は77.8%，聞き手が男性の場合は77.9%を占めていた。一方，日本語では学生を意味することばは全く見られなかった。

3.2 既知の人に対する代名詞的用法の対称詞使用

既知の年上に対する場合，日韓では「実名・愛称類」「親族名称類」「人称代名詞類」「テクノミー類」などが代名詞的用法の対称詞として用いられた。図1は，日本人と韓国人の既知の人に対する代名詞的用法の対称詞の使い分けを，年齢の上下と親疎関係を軸にして示したものである。図1からも分かるように，日本語では既知の人に対しては相手の年齢の上下や親疎に関係なく，実名・愛称を用いることが多く，その使用率は9割以上を占めていた。

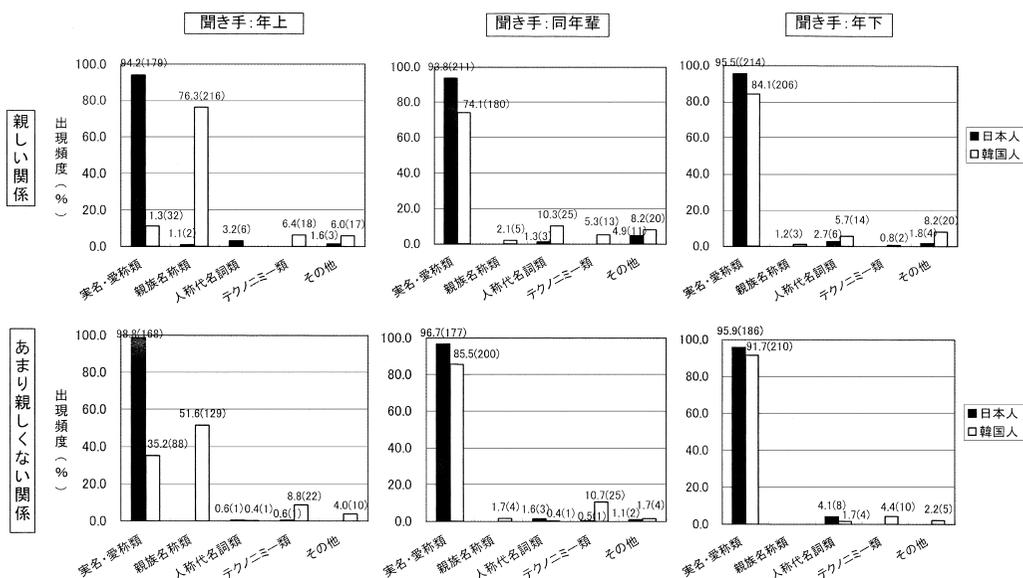


図1 日本語と韓国語における既知の人に対する代名詞的用法の対称詞使用
注. ガッコ内は回答数。

一方、韓国語は、既知の年上の人に対する場合は親族名称を用いるのが多く、同年輩や年下に対しては実名・愛称を多用していた。このような日韓の実名・愛称および親族名称の使用パターンは、林（2003）で明らかになった両言語の呼格的用法の対称詞の使用パターンとも類似している。

さらに、韓国語の親族名称と実名・愛称の使用をより詳細に観察したところ、親族名称は、相手が同年輩や年下の場合より年上に対して多く見られ、かつあまり親しくない年上（51.6%）よりも親しい年上（76.3%）に対して多用されていた。実名・愛称の使用に関しては、日本語は親しいか親しくないかはほとんど影響していないのに対し、韓国語では親しいかどうかによって若干違いがみられた。つまり、韓国語では、実名・愛称は親しい年上（11.3%）よりも親しくない年上（35.2%）に対してより多用されている。このことから、韓国語の親族名称は親しい関係で用いやすく、実名・愛称はある程度距離のある相手に対して用いやすいといえる。

また、人称代名詞、テクノニミーの使用に注目してみると、韓国語では、既知の人に対してテクノニミーと人称代名詞が最も多く用いられるのは同年輩の相手であった。しかしながら、テクノニミーはあまり親しくない相手に対して用いることが多く、人称代名詞は親しい相手に対してより多用される点で相違が見られる。韓国語における人称代名詞は日本語に比べその数が少なく、それほど高い待遇価値を持っていないので、あまり親しくない関係では用いにくいといえよう。そのため、人称代名詞を用いにくいあまり親しくない相手に対して

は、間接的な呼び方であるテクノミーが比較的使いやすいのであると考えられる。つまり、韓国語のテクノミーは、上下関係および親疎関係のなかで円滑なコミュニケーションを行うための緩衝材として用いられているといえる。一方、日本語では、人称代名詞とテクノミーの使用率が全体的に低く、とりわけテクノミーの使用はあまり親しくない年上（0.6%）やあまり親しくない同年輩（0.5%）に対してのみわずかにみられた。

3.3 初対面の人に対する代名詞的用法の対称詞使用

初対面の人に対する代名詞的用法の対称詞の場合、両言語では親族名称や人称代名詞を使うケースがある一方で、相手のことを全く「言及しない」ケースも見られた。図2は、初対面の人に対する人称代名詞的用法の対称詞使用を、年齢の上下と聞き手の性差を軸にして示したものである。日本語では、同年輩や年下については、人称代名詞が多く用いられているが、年上に対しては、相手のことを全く「言及しない」ケースの割合が人称代名詞の割合をやや上回っている。一方、韓国語では、年上と同年輩に対しては親族名称、年下に対しては学生を意味する「hagsaeng」が最もみられた。韓国語の場合、年下に対する代名詞的用法の対称詞として「hagsaeng」が特に多用されていることについては、本調査で年下を10代以下と限定したためであると考えられる。日本語ではこのような学生を意味する語形は見られなかった。

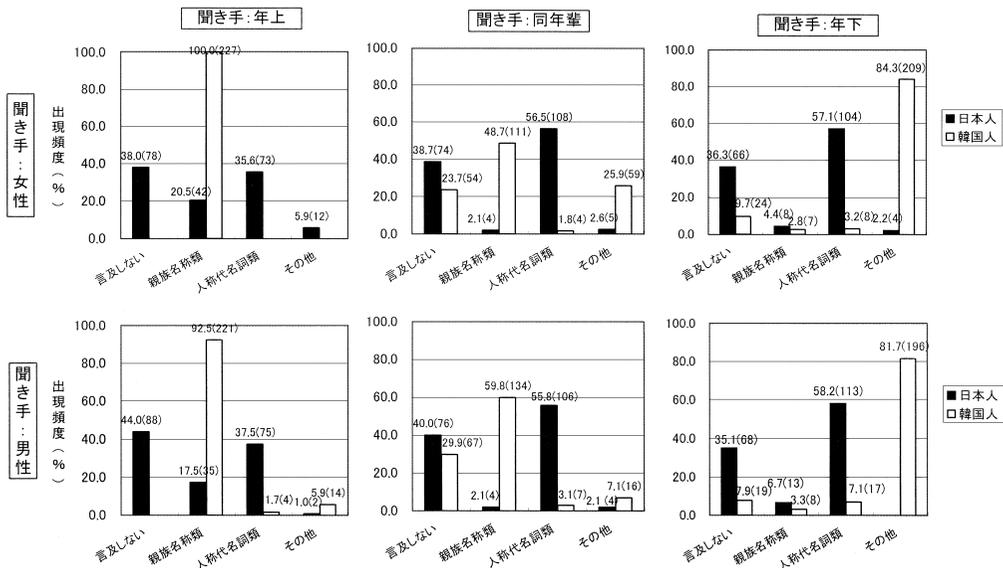


図2 日本語と韓国語における初対面の人に対する代名詞的用法の対称詞使用

注1 ガッコ内は回答数。

注2 韓国語の年下に対する「その他」に含まれる種類のなかで最も多かったのは「hagsaeng」であった。聞き手が年下の女性の場合は71.8%、聞き手が年下の男性の場合は77.9%を占めている。

初対面の人に対して相手のことを全く「言及しない」ケースが日韓両言語、とりわけ日本語で数多く見られたが、これは、本調査で用いた質問文の形式が強く影響している可能性がある。両言語では、「(あなた)は」「(あなた)が」という代名詞的役割をする表現はできるだけ明示せず、文脈で分かる限りはなるべく省略するか、直接呼びかけたりする傾向が強いからである。ちなみに、日本語と韓国語の呼格的用法の対称詞を調査した林(2003)の調査では、両言語ともに相手に直接呼びかけたり、注意を喚起したりするときに用いる「あのう」「すみません」「jeogiyu」「yeogiyu」などといった「喚起語句」が、年上から年下に至るまで最も多用されていた。

初対面に対する代名詞的用法の対称詞の使用パターンを相手の性差で見た場合、日韓とも相手の性差による顕著な違いは見られなかった。

4. ま と め

以上、質問紙調査をもとに日本語と韓国語における非親族に対する代名詞的用法の対称詞について、年齢の上下と親疎関係(既知の人の場合)、年齢の上下と話し相手の性差(初対面の人の場合)を軸にして、その使い分けの特徴を検討してみた。

その結果をまとめると次のようになる。まず、(1)既知の人に対する場合、両言語とも、親族名称、実名・愛称、人称代名詞、テクノニミーなどが用いられていた。しかし、韓国語では年上に対しては親族名称が、同年輩や年下に対しては実名・愛称が多く用いられていた。一方、日本語では、ごくわずかな親族名称だけが用いられているだけで、親しいか親しくないかに関係なく、実名・愛称で相手に言及することが圧倒的に多いことが明らかになった。また、(2)初対面の見知らぬ人に対する場合、両言語とも、親族名称や人称代名詞を使うケースがある一方で、全く言及しないケースなども見られた。しかし、親族名称や人称代名詞の使用については日韓で大きな違いが見られ、日本人は人称代名詞を、韓国人は親族名称をより多用する傾向が見られた。代名詞的用法の対称詞の使用パターンについては、日韓とも相手の性差による顕著な違いは見られなかった。

非親族に親族名称を用いる動機は、いずれの社会・文化においても相手や他人を「近づける」ことにある(原, 1979)。日本語と韓国語では、親族名称で既知の相手に言及したりすることができるという点では共通している。しかし、その使用率からも分かるように、親族名称を用いることによって、非親族に対してもより親密な関係を作り上げようとする傾向は日本人よりも韓国人のほうが強いといえる。また、韓国人における非親族への親族名称の多用は、目上と目下をはっきり区別し、かつ目上に対しては名前を用いにくい韓国人の人間関係のなかで、円滑なコミュニケーションを行うための一つの緩衝材としての役割を持っている

ると考えられる。さらに、韓国語ではテクノニミーの使用もあまり親しくない同年輩に対して多く用いられている点で、親族名称と同様な役割を担っているといえよう。一方、日本語では、既知の人に対しては年齢の上下や親疎に関係なく、実名・愛称を用いることで、常に相手と同等の関係を築こうとしているのではなかろうか。

本調査は、代名詞的用法の性質を持つ対称詞をより多く聞き出すため、対称詞をできるだけ使うようにし向けた調査項目を用いている。そのため、日本語として若干不自然な調査項目となっていることは否定できない。今後はより自然な日本語と韓国語を用いた調査項目で、その使用実態を再検討して行きたいと考えている。また、話し手の年齢をさらに限定して日韓両言語の代名詞的用法の対称詞使用を検討した場合、年齢層の違いによってその使い分けに違いがあることも予想される。これについても今後の課題としたい。

参 考 文 献

- 池上秋彦 1984 体言の敬語法 鈴木一彦・林巨樹(編) 研究資料日本文法9—敬語法編 明治書院 Pp. 48-77.
- 井上史雄 1991 お兄さんとお姉さんの謎—親族名称と呼称の構造 月刊言語, 20(7), 46-51, 大修館書店
- 井上ひさし 1995 井上ひさしの日本語相談 朝日新聞社
- 石川栄吉・梅棹忠夫・大林太良・蒲生正男・佐々木高明・祖父江孝男 2000 (縮刷版) 文化人類学事典 弘文堂 Pp. 500-501.
- 林炫情・玉岡賀津雄・深見兼孝 2002 日本語と韓国語における呼称選択の適切性 日本語科学, 11, 31-54. 国立国語研究所
- 林炫情 2003 非親族への呼称使用に関する日韓対照研究 社会言語科学, 5, 20-32. 社会言語学会
- 林炫情・玉岡賀津雄 2003 職場における「お兄さん」および「お姉さん」の親族呼称使用に関する日韓対照研究 日本文化学報, 18, 21-35. 韓国日本文化学会
- 金水敏 1989 代名詞と人称 日本語と日本語教育 4 明治書院 Pp. 98-116.
- 国立国語研究所 2000 新「ことば」シリーズ12 言葉に関する問答集——言葉の使い分け 国立国語研究所
- 鈴木孝夫 1973 人を表すことば ことばと文化 岩波書店 Pp. 129-206.
- 森下喜一・池景来 1989 日本語と韓国語の敬語 白帝社
- 原忠彦 1979 親族名称 原忠彦・末成道男・清水昭俊(編) ふおるく叢書9—仲間 弘文堂 Pp. 253-308.
- 渡辺友左 1978 親族語彙の全国概観 日本方言研究会・柴田武(編) 日本方言の語彙 三省堂 Pp. 27-42.
- 朴甲洙 1989 國語呼称의 実状과 对策 (國語呼称의 実状と对策) 국어생활, 19, 10-32. 국어연구소
- 徐正洙 1989 존대법 연구 한신문화사
- 이정복 2002 국어 경어법과 사회언어학 月印
- 유송영 1996 국어 청자대우어미의 교체사용과 청자 대우법체계 — 힘과 유대의 정도성에 의한 담화분석적 접근 고려대 대학원 박사논문
- 延世国語辞典, <http://clid.yonsei.ac.kr:8000>
- 韓美啣 1982 韓国語の敬語の用法 講座日本語12—外国語との対照Ⅲ 明治書院 Pp. 185-198.

質 問 項 目

【場面1】あなたは下記に示した相手と道で偶然会いました。話し相手はあなたが普段知っている人です。その人に、「今から買い物に行くのか」と尋ねる場合、次のそれぞれの相手に対して、どのように言いますか。まず、[]には、相手を表す表現について使うと思う表現全てを書いてください。相手を名前または愛称で表す場合は実際あなたが使う言葉をそのまま書いてください。もし、相手の名前が浮かばない場合は、男性は田中一郎、女性は木下花子として考えてくださっても結構です。| |については、あなたが実際使うと思うものを全て選んで該当する番号に○をしてください。もし、項目の中で使う表現がない場合は(5) その他()に自分が実際使っている言葉をありのまま書いてください。

<table border="0"> <tr> <td style="font-size: 4em;">{</td> <td style="padding: 0 10px;"> <table border="0"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">[]</td> <td>はこれから 買い物に</td> </tr> </table> </td> <td style="font-size: 4em;">}</td> </tr> </table>	{	<table border="0"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">[]</td> <td>はこれから 買い物に</td> </tr> </table>	[]	はこれから 買い物に	}	<table border="0"> <tr> <td style="font-size: 4em;">{</td> <td style="padding: 0 10px;"> <table border="0"> <tr> <td>(1) 行く？</td> </tr> <tr> <td>(2) 行きますか？</td> </tr> <tr> <td>(3) 行かれますか？</td> </tr> <tr> <td>(4) いらっしゃいますか？</td> </tr> <tr> <td>(5) その他()</td> </tr> </table> </td> <td style="font-size: 4em;">}</td> </tr> </table>	{	<table border="0"> <tr> <td>(1) 行く？</td> </tr> <tr> <td>(2) 行きますか？</td> </tr> <tr> <td>(3) 行かれますか？</td> </tr> <tr> <td>(4) いらっしゃいますか？</td> </tr> <tr> <td>(5) その他()</td> </tr> </table>	(1) 行く？	(2) 行きますか？	(3) 行かれますか？	(4) いらっしゃいますか？	(5) その他()	}
{	<table border="0"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">[]</td> <td>はこれから 買い物に</td> </tr> </table>	[]	はこれから 買い物に	}										
[]	はこれから 買い物に													
{	<table border="0"> <tr> <td>(1) 行く？</td> </tr> <tr> <td>(2) 行きますか？</td> </tr> <tr> <td>(3) 行かれますか？</td> </tr> <tr> <td>(4) いらっしゃいますか？</td> </tr> <tr> <td>(5) その他()</td> </tr> </table>	(1) 行く？	(2) 行きますか？	(3) 行かれますか？	(4) いらっしゃいますか？	(5) その他()	}							
(1) 行く？														
(2) 行きますか？														
(3) 行かれますか？														
(4) いらっしゃいますか？														
(5) その他()														

〈話し相手〉

- | | |
|--------------|-------------------|
| (1) 年上の親しい人 | (2) 年上のあまり親しくない人 |
| (3) 同年輩の親しい人 | (4) 同年輩のあまり親しくない人 |
| (5) 年下の親しい人 | (6) 年下のあまり親しくない人 |

【場面2】電車のなかで、初対面の人が切符を落としているのをあなたが拾いました。落とされたと思われるその人に、「これはあなたが落としたのか」を尋ねる場合、あなたは次のそれぞれの相手に対して、どのように言いますか。まず、[]には、相手を表す表現について使うと思う表現全てを書いてください。| |については、あなたが実際使うと思うものを全て選んで該当する番号に○をしてください。もし、項目の中で使う表現がない場合は(5) その他()に自分が実際使っている言葉をありのまま書いてください。

<table border="0"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">この切符(は)</td> <td style="font-size: 4em;">{</td> <td style="padding: 0 10px;"> <table border="0"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">[]</td> <td>が</td> </tr> </table> </td> <td style="font-size: 4em;">}</td> </tr> </table>	この切符(は)	{	<table border="0"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">[]</td> <td>が</td> </tr> </table>	[]	が	}	<table border="0"> <tr> <td style="font-size: 4em;">{</td> <td style="padding: 0 10px;"> <table border="0"> <tr> <td>(1) 落とされた？</td> </tr> <tr> <td>(2) 落としましたか？</td> </tr> <tr> <td>(3) 落とされましたか？</td> </tr> <tr> <td>(4) お落としになりましたか？</td> </tr> <tr> <td>(5) その他()</td> </tr> </table> </td> <td style="font-size: 4em;">}</td> </tr> </table>	{	<table border="0"> <tr> <td>(1) 落とされた？</td> </tr> <tr> <td>(2) 落としましたか？</td> </tr> <tr> <td>(3) 落とされましたか？</td> </tr> <tr> <td>(4) お落としになりましたか？</td> </tr> <tr> <td>(5) その他()</td> </tr> </table>	(1) 落とされた？	(2) 落としましたか？	(3) 落とされましたか？	(4) お落としになりましたか？	(5) その他()	}
この切符(は)	{	<table border="0"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">[]</td> <td>が</td> </tr> </table>	[]	が	}										
[]	が														
{	<table border="0"> <tr> <td>(1) 落とされた？</td> </tr> <tr> <td>(2) 落としましたか？</td> </tr> <tr> <td>(3) 落とされましたか？</td> </tr> <tr> <td>(4) お落としになりましたか？</td> </tr> <tr> <td>(5) その他()</td> </tr> </table>	(1) 落とされた？	(2) 落としましたか？	(3) 落とされましたか？	(4) お落としになりましたか？	(5) その他()	}								
(1) 落とされた？															
(2) 落としましたか？															
(3) 落とされましたか？															
(4) お落としになりましたか？															
(5) その他()															

〈話し相手〉

- | | |
|--------------|--------------|
| (1) 60代以上の女性 | (2) 60代以上の男性 |
| (3) 同年輩の女性 | (4) 同年輩の男性 |
| (5) 10代以下の女性 | (6) 10代以下の男性 |

A Contrastive Study on the Pronominal Use of Address Terms in Japanese and Korean

LIM, Hyunjung

Abstract

This study compares and analyzes the similarities and differences in the pronominal uses of address terms in Japanese and Korean. Some interesting results are obtained from the questionnaire carried out in this study. First, kinship terms, names or pet names, personal pronouns, and teknonimy (which means address terms spoken from a child's position), are used between acquaintances in both languages. In Korean, however, the speakers generally use kinship terms to older people, and names and pet names to people who are at the same age or younger. In contrast, Japanese speakers hardly use kinship terms. They commonly use names or pet names. Second, some Japanese and Korean people use kinship terms and the personal pronouns with unknown people. Especially Japanese people use a lot of personal pronouns, and Korean people use kinship terms. However, there is a tendency in both languages for no address terms to be used with a stranger.

Key Words: pronominal use of address terms, acquaintance, unknown, Japanese and Korean